

平成29年4月27日

各 位

株式会社日本トリム

代表取締役社長 森澤紳勝

(コード番号：6788 東証第一部)

お問い合わせ先

執行役員 経営企画部長 田原 周夫

(TEL：06-6456-4633)

再生医療分野での資本・業務提携に関するお知らせ

株式会社日本トリム（代表取締役社長：森澤紳勝）は、先進医療分野における戦略的持株会社である株式会社トリムメディカルホールディングス（以下、「トリムメディカル」）を通じ、医薬研究用機器及び医療関連機器の企画・開発・製造・販売のストレックス株式会社（以下、「ストレックス」）と、資本・業務提携契約を締結しましたので、お知らせいたします。

1. 資本・業務提携の目的

日本トリムは、経営基盤の拡大に向け、先進医療関連事業を中核事業の一つとして成長させていく経営戦略を進めており、今回のトリムメディカルとストレックスとの資本・業務提携は、先進医療として今後の大幅な市場拡大が見込まれる再生・修復医療及び生殖医療（不妊治療）分野の事業基盤強化を目的としております。

トリムメディカルの子会社である、株式会社ステムセル研究所が有する臍帯血由来幹細胞の保管サービス（国内市場シェア約95%）のノウハウ及び十数年蓄積された品質管理体制と、ストレックスが有する再生医療、生殖医療分野での装置に関する豊富なノウハウを融合することで、再生・修復医療及び生殖医療周辺の事業拡大を行ない、日本トリムグループの企業価値の更なる向上を目指して参ります。

2. 資本提携の内容

両社は4月27日付で「資本・業務提携契約」を締結いたしました。

5月初旬にトリムメディカルがストレックスの発行済株式の過半数を取得する事となります。

3. 今後の見通し

経済産業省の報告書によると、国内の再生医療周辺産業の市場は2020年には950億円、2030年には5,500億円、2050年には1.3兆円の規模に達すると予想されています。その背景として、再生医療産業を国策として促進させようとする明確なビジョンが存在し、細胞医薬品の実用化のため、その基盤となる幹細胞研究等の再生医療周辺産業に対する環境整備の拡大と普及が重要視されています。再生医療周辺産業のうち、培養機器装置類の市場が半分近くを占めるため、今後、再生医療の実用化に伴いストレックスのエンドユーザーである病院や検査機関、企業向けの売上也拡大することが期待されます。

また、生殖医療分野においては、国内の生殖補助治療数の割合は欧米先進国に比べても高く、年々その割合は高まっています。ストレックスの手掛ける生殖補助医療用システムは、培養トレー上のシャーレを直接振動させることにより、培養液中の受精卵の段階から「1/f ゆらぎ」というリラックスした状態が期待できる物理的刺激を与えることができる独自の特徴を有しています。このように独自性のあるストレックスのシステムが、生殖補助医療市場の拡大に伴い更に普及していくことが期待されます。

本資本・業務提携により、トリムメディカルはステムセル研究所の事業基盤をもとに、再生医療周辺産業と生殖補助医療産業の両面からの事業拡大が可能となり、国内の再生医療周辺産業でのマーケットシェア獲得を行い、事業価値を飛躍的に向上させるべく挑戦してまいります。なお、本件の2018年3月期の当社連結業績に与える影響は軽微であります。

【参考情報】

■ ストレックス株式会社

メカニカルストレス受容機構解明を目指した基礎医学研究用システムの研究及び開発製造を行っております。再生医療・組織工学に応用可能な3次元培養システムの開発に加え、iPS/E S細胞等の効果的な凍結が可能となる「プログラム・ディープフリーザー」、そして生殖補助医療用システム等の開発・製造・販売を行っております。個々のお客様からのご要望にもお答えできる機器設計・システムの提案等、豊富な経験、アイデアを持つオンリーワン・クリエイティブな研究開発型集団です。

- 代表者：代表取締役 石田 敬雄
- 住所：〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場2-7-14
- 設立：2003年10月30日
- 資本金：15,000,000円

■ 株式会社トリムメディカルホールディングス

日本トリムの先進医療関連事業における戦略的持株会社であり、株式会社ステムセル研究所（臍帯血等の細胞保管サービス）、ヒューマンライフコード株式会社（国産細胞医薬品の研究開発・製造・販売）、日中医療開発株式会社（中国における病院運営事業）の事業統括を行っております。

- 代表者：代表取締役社長 清水 崇文
- 住所：〒531-0076 大阪市北区大淀中1-8-34
- 設立：2007年5月2日
- 資本金：635,439,950円

以上